

教科	社会	科目	地理総合	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	全科・1年	高等学校 地理総合（第一学習社）
副教材	帝国書院編集部編 標準高等地図 ―地図でよむ現代社会―（帝国書院）					
学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。					

評価の規準・観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているのかを評価する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしており、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとしているかを評価する。
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験、小テスト、単元テスト 授業プリント等 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験、小テスト、単元テスト 授業プリント、グループワーク発表 ノートの見取り、ディスカッション等 	<ul style="list-style-type: none"> 予習課題、授業中の取り組み ノートの見取り、まとめ、発表 定期試験、テストなどの振り返り
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表への取り組み、課題の提出、単元テスト、定期試験等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容（特色を含む）			
月		月	
4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界	10	2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて 3節 自然と調和した豊かな社会に向けて
5	1節 球面上の世界と地図 2節 国家の結びつきとグローバル化する社会 中間試験	11	中間試験 4節 現役世代と将来世代のための地球
6	第2編 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解 期末試験	12	5節 平和で公正な社会に向けて 期末試験
7	2章 地球的課題と国際協力	1	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災
9	1節 持続可能な社会を目指して	2	2章 生活圏の調査と地域の展望 学年末試験
		3	

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業では 地理の学習を通して、世界各地でみられる地球的課題の解決には、持続可能な社会の実現や国際協力が必要であることの理解を深めるような授業を行います。世界の人々の特色ある生活文化を知り、自他の文化を尊重し国際理解を図る学習に取り組めます。</p> <p>2 家庭では 身近な話題や普段の買い物など、日常生活と学習したことを関連付けて理解できるようになります。新聞やニュース、テレビ番組などを通して世界の人々の生活文化や現代社会の諸問題に関心が持てるよう努力してください。</p> <p>3 その他 地図や表にまとめる作業を通して理解を深めます。</p>